

みずほCustomer Desk Report 2017/07/25号 (As of 2017/07/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.94	1.1680	129.59	0.9447	1.3002	0.7925
SYD-NY High	111.32	1.1684	129.72	0.9475	1.3058	0.7967
SYD-NY Low	110.63	1.1626	128.88	0.9447	1.2990	0.7900
NY 5:00 PM	111.11	1.1642	129.37	0.9465	1.3028	0.7925
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.08/8.46		△25RR	1.103	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	-0.1170	0.1bp
NY DOW	21,513.17	▲66.90		
NASDAQ	6,410.81	23.05		
S&P	2,469.91	▲2.63		
日経平均	19,975.67	▲124.08		
TOPIX	1,621.57	▲8.42		
ソコ日経先物	19,975.00	▲30.00		
ロンドンFT	7,377.73	▲75.18		
DAX	12,208.95	▲31.11		
ハンセン指数	26,846.83	140.74		
上海総合	3,250.60	12.62		
	為替市況	USD/CNH	6.7495	▲0.0076
		ドルインデックス	93.98	0.12
	商品市況	CRB指数	176.233	▲0.43
		NY金	1,260.70	▲0.30
		WTI	46.34	0.57
		Dubai Spot	46.81	▲1.34

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月24日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 58.3/53.5/55.1	59.2/54.3/56.3
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 56.8/55.4/55.8	57.2/55.4/56.2
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 53.2/54.2/54.2	52.3/54.2/-
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.52M	5.57M

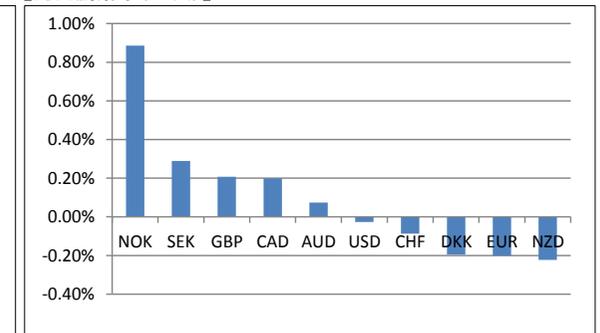
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月25日	08:50	日 日銀議事要旨(6/15-16開催分)	-	-
	17:00	独 IFO景況感/期待/現況指数	7月 114.9/106.5/123.8	115.1/106.8/124.1
	23:00	米 消費者信頼感	7月 116.5	118.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	先週末からのドル売り優勢地合いが続く中、ドル円はオセアニア時間に直近下値を試す格好に約1ヶ月ぶりに111円台を割る展開となり、東京時間のドル円は110.94レベルでオープン、日経平均が寄り付き大幅安となるとドル円は更に下値を切り下げ一時110.77まで下落。この水準では実需勢によるドル買いや投機筋の押し目買いも散見される中、午後にかけては111円台を回復する展開。その後は111円ちょうど辺りでの揉み合い推移が続く中、日経平均が一時的に2万円台を回復するとドル円も一時111.18まで上昇、その後は横這い推移となり結局111.13レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.13レベルでオープン、全般的にドル売り優勢地合いとなる中、ドル円は一目均衡表日足雲下限(110.77円)を下抜けたことで三役逆転(転換線<基準線、現在のレート<雲、運行スパン<ソク足)の条件が揃う強い売りシグナルが示現、ストップを巻き込みながら110.63まで下落し、結局110.83レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1655レベルでオープン、独7月マークイット総合PMIが6月ぶりの低水準である55.1となり、2か月連続で低下を示したことや、トルコリラの関係悪化を嫌気する格好にリスク回避の姿勢が強まり、欧州債が買われ、欧州株が売られる中でユーロドルも1.1631まで値を下げる展開、結局1.1645レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間のドル円はトランプ政権を巡る不透明感などを背景に下値を試す展開となり、安値110.63をつけ110.83レベルでNYオープン、朝方発表された米6月中古住宅販売件数は2ヶ月ぶりの減少となり、予想を下回る結果となったが市場の反応は限定的、サウジアラビアの原油減産見通しやOPEC主導の原油協調減産延長への期待にサポートされ、WTI原油が堅調に推移したことや、FOMCを控えたポジション調整の動きに米金利が上昇したことなどを背景にドル円は111円台を回復、その後、一部企業決算の結果を嫌気し寄り付きから大幅下落していた米株がマクドナルドを縮小したことも相俟ってドル円は海外時間高値を上抜けこの日の高値となる111.32まで上昇、しかしFOMCやトランプ・ジュニアなどが出席する上院司法委員会の公聴会を翌日以降に控えていることから積極的に上値を迫る展開とはならず、その後は111円台前半での推移が続く、結局111.11レベルでクローズした。なお、米上院情報特別委員会でトランプ大統領の娘婿であるクシュナー上級顧問の証言が非公開に行われ、その後の会見で同氏が米大統領選におけるロシアとの共謀を否定したが、市場の反応は限定的となった。一方ユーロドルは1.1645レベルでNYオープン、米金利の上昇と共にドル買いが強まり、ユーロドルは安値1.1626まで下落、しかしこの水準ではユーロ買い意欲も強く1.1645半ばまで値を戻し、結局1.1642レベルでクローズした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.50	1.1600-1.1670	129.00-129.80

【マーケット・インプレッション】

本年後半の米利上げ観測を疑問視する声が増えつつあることやトランプ政権基盤に対して政権執行能力の不透明感が顕在化していることがドルの重石となっている。一方で本日・明日の米FOMCを控えて債券のポジション調整売りが散見され米長期金利が持ち直したことからNY時間終盤にかけてドルは若干買い戻されている。本日もこのまま調整相場が続くようだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。